

笑いとお迫力の技に拍手喝采

チャリティープロレスin長島

3月3日、アジアンプロレスリングが主催する「チャリティープロレスin長島」が町総合市民体育館の多目的ホールで開催され、子どもから大人まで、プロレスを生で見ようと会場に訪れました。

第一試合開始時刻の午後2時、リングアナウンサーから選手紹介がされると、赤コーナー、青コーナーからそれぞれ選手が入場。観客は入場曲に合わせて、手拍子で迎えました。

試合が始まると、影山道雄選手の「長島の皆さん、盛り上がってますかー」の掛け声で会場が一気に沸き、空中から繰り出すダイナミックな技や観客を巻き込んでの試合運びに拍手が湧いたり、笑い声が響いたりしました。

メインイベントの試合で、観客の中からレフェリーとして参加した長島中学校3年生の下平拓真さんは「生でプロレスを見たら、臨場感があった」と感激した様子でした。



↑子どもたちもレスラーと共闘



↑観客席が湧いた空中から飛び出す技

「樁妃隊」の消火活動体制を強化

宝くじ助成金で軽可搬消防ポンプなどを購入

町では、平成30年度コミュニティ助成事業（宝くじ助成事業）を活用し、D-1級軽可搬消防ポンプと火点を長島町女性消防団「樁妃隊」に整備しました。

樁妃隊は、平成27年度に結成されて以来、地域の防火防災に関する普及啓発活動や高齢者実態調査、手話講座など女性ならではの活動を積極的に行ってきました。

今回、軽可搬消防ポンプを整備することで、女性消防団が初期消火活動の訓練や消防操法などの規律訓練を行うことができ、町消防団の初期消火活動体制の強化や地域防災力の向上が図られます。



↑樁妃隊に整備された火点（写真左）と軽可搬消防ポンプ

福祉活動車両の贈呈

2月14日、県グラウンド・ゴルフ協会（福山忍会長）から町社会福祉協議会に軽ワゴン車1台が贈呈されました。

これは同協会のホールインワン基金の一環で、車両は今後、高齢者宅を訪問して夕食の弁当を届ける「給食サービス」や獅子舞での「出張子育ひろば」の用具運搬などで福祉活動車両として活用されます。

町保健福祉センターで行われた贈呈式で、中納武徳会長は「活動に必要な車が不足していたので、非常にありがたい。地域福祉の向上につなげたい」と喜びました。



↑車両の贈呈を受ける中納会長（写真右）